

がんば

議会だより No.165

4月臨時会・6月定例会 … P 2
議案質疑・委員会質疑 …… P 3
議決結果・議会のうごき …… P 4

一般質問 …………… P 5～
あとがき …………… P 16

4月
臨時会

4月22日

財産の取得

自走式仮設水洗トイレ
カーの購入。

専決処分（条例改正）

● 荻田町税条例の一部を改正する条例

● 荻田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法などの一部改正による所要の改正。

委員会質疑

総務

常任委員会

● 財産の取得について

● 入札結果と金額

国の補助はどのくらいか。

【A】愛知ポンプ工業株式会社を契約の相手方とし、金額は3008万5千円、

国庫補助額2分の1。導入のきつかけは。

【A】国の補助2分の1を活用。災害時ではトイレは重要。

● 専決処分について（荻田町税条例の一部を改正する条例の制定について）

【Q】改正により収税減が見込まれるのでは。

【A】年間1億円程度見込まれる。



トイレカー（参考画像）

6月
定例会

一般会計補正予算等13件を審議

6月6日
～
6月24日

補正予算

令和7年度荻田町一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出それぞれ5億6573万6千円を追加し、総額は192億5300万3千円。

条例改正

● 荻田町手数料条例

法人事業者などが住民票（写し）などの交付に関するオンラインサービスを利用した場合の支払いについて、必要な改正を行う。

● 荻田町公共下水道条例

排水設備指定工事店の指定について、災害など非常時の例外を定めることに関して、市町

＊一般会計補正予算（歳出で補正した主なもの）

【一般会計補正予算（第1号）】	
・介護施設等開設準備経費等支援補助金	712万円
・地域商品券発行事業補助金	6100万円
・井場川埋立地（磯浜緑地）活用検討調査業務委託料	1707万円
・JR工事委託料	4000万円
・三原文化会館解体工事	1億7260万円
・歴史資料館等解体工事	6473万円
【国民健康保険特別会計補正予算（第2号）】	232万円
【後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）】	98万円
【介護保険特別会計補正予算（第1号）】	439万円

その他の議案

● 財産の取得について
小中学校の児童・生徒が使用するタブレット約700台の購入。

人事案件

● 京都郡公平委員会委員の選任
藤本孝彦氏を選任。

● 財産の取得について
給食センターの炊飯設備・連続フライヤーなど機器を購入。

● 財産の取得について
水槽付消防ポンプ自動車の更新。

専決処分

● 令和7年度荻田町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

5月31日の出納閉鎖までに専決処分の予定。赤字分の繰上充用を行うもの。

議案質疑

一般会計補正予算（第1号）

【民生費】

● シルバー人材センター移転に係る負担金192万円の内容は。

【A】移転費約80万円、あいあいの備品購入費約45万円、パソコン移設作業費約39万円、電話回線移設工事費約5万円、電話配線工事費約23万円。

● あいあいの備品購入費約45万円は、リフォームも含めた金額なのか。

【A】リフォームではなく、マットや安全柵などの備品を購入する。

● 負担金で予算措置をした理由は。

委員会質疑

総務

常任委員会

● 荻田町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定

● 条例改正の経過は。

【A】社会情勢の変化や賃金の上昇、議員のなり手不足などの課題があり、全国町村議会議長の決議を受けて、平成22年以降開催していない特別職報酬等審議会を開催し、協議を行った。今回、審議会の

● 財産の取得について
● 消防ポンプ車の新しい機能は。

【A】圧縮空気泡消火装

産業建設

常任委員会

● 令和7年度一般会計補正予算（第1号）

【商工費】

● 要望 地域商品券が、多くの町民に広く行き渡るような工夫をしてほしい。

【土木費】

● 追加工事の内容は。

【A】塗装の追加と工法の変更である。線路上の工事箇所が増え、夜間作業が増えたため、金額が大きくなった。

厚生文教

常任委員会

● 令和7年度一般会計補正予算（第1号）

【民生費】

● シルバー人材センター移転負担金192万円、適正な運営ができるのか。

【A】施設改修ではなく、引っ越し費用なので運営できる。今後、改修が必要になる可能性はある。

【教育費】

● 歴史資料館基本設計業務委託料の協議内容は。

【A】躯体の設計だけではなく、展示部分も含めて設計した方が費用を少なくできるとの意見があり、追加計上した。

● 財産の取得

● タブレットは何年

更新で、台数は。

【A】基本的には5年更新。令和6年度から令和9年度に合計3438台。

● 貸出ルールは。

【A】故意で壊した場合個人負担。使用条件などを保護者に周知し承諾書をとっている。

● 給食センターで他に更新が必要な設備はないのか。

【A】5年計画で更新しており、現在3年目。

● 専決処分について（国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

● 赤字の理由は。

【A】団塊の世代が後期高齢者になったことと、制度改正による社会保険への異動などで歳入が減ったこと。

Q 総合福祉会館はリフォーム工事がある影響は。

A 本年9月以降改修工事に入る。その時点からは使えない。

Q 熱中症特別警戒アラートが出た場合、町民への周知は。

A 企業や事業所、団体などにラインやメールなどで送る。

Q 暑さ指数計測器は、各学校に備えてあるのか。

A 保健室の備品のほか、校舎、校舎の外

体育館など必要に及び設置。主にハンディタイプだ。

Q 暑さ指数のデータを各学校は残しているのか。

A 日々の記録は残していない。

Q 教育委員会から、記録を残すように指導は。

A 可能な限りでお願いする。

Q 下校時に熱中症で倒れた例がある。先生の目が行き届かないが対応は。

A 登校時から下校時まで、十分な水分補給、屋内での休憩の声かけを行っている。

Q 体育館へのエアコンの設置を早くできないか。

A 国の臨時交付金を活用し、令和8年度に設計、中学校から順次整備し、令和12年度までに8校の整備を完了する。

Q 空調の方式は、電気、ガス、ハイブリッドのどれか。

A 設計するときに、

情報を整理して考える。

子どもの居場所

Q 三原文化会館とパンジープラザが使用できなくなると支障が出る。解決策は。

A パンジープラザは、5257人が利用。福祉会館に移転し、同じようにしていく予定。

Q 講座を開くにも、場所がなく困難になっているが。

A 一時的に場所が不足する。代替措置を検討する。

Q 未就学児の居場所がない。ふらっと行ける屋内の場所の居場所をという声があるが。

A 子どもたちが健やかに過ごせる環境を

熱中症対策は まちなか避暑地を 11か所設置する



白石 学（公明党）



井場川埋立地

提供したい。検討する。

Q 子どもの年齢に合わせた遊具などのある施設を作る考えは。

A 老朽化した公共施設の更新をしている。新施設は厳しい。

提言 井場川埋立地磯浜緑地の民間活力を導入した利活用が始まる。そこに子どもの居場所作りを検討すべきだ。

令和7年第2回 苅田町議会臨時会議決結果一覧表

議案 番号	件 名	角 崎 明 美	森 琢 磨	福 山 直 樹	田 淵 朗	末 石 伸 二	花 見 文 敏	村 上 智 宣	岩 谷 潔	尾 形 均	白 石 学	友 田 敬 而	小 山 信 美	武 内 幸 次 郎	坂 本 東 二 郎	榎 谷 忠 明	沖 永 義 樹	結 果
議案第 40 号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第 41 号	専決処分について(苅田町税条例の一部を改正する条例の制定について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第 42 号	専決処分について（苅田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認

令和7年第3回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案第43号	令和7年度苅田町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第44号	令和7年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第45号	令和7年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第46号	令和7年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第47号	苅田町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第48号	苅田町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第49号	苅田町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第50号	苅田町長、副町長及び教育長給与条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第51号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第52号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第53号	専決処分について(令和7年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第54号	京都郡公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第55号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書第4号	地方財政の充実・強化に関する意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	可決
意見書第5号	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書第6号	給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書(案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	-	可決
意見書第7号	高齢者RSウイルスワクチン接種に関する意見書(案)	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○ー賛成、×ー反対 欠ー欠席 除ー除斥(議案に利害関係を有するため退席) ※議長(沖永義樹)は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。 ※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

議会のうごき

4月	3・10日	議会広報特別委員会
	22日	全員協議会・議会運営委員会、令和7年第2回臨時会、付託委員会
5月	30日	全員協議会

9月定例会の予定

*会期は8月26日(火)から9月19日(金)まで
*一般質問は9月4日(木)・5日(金)・8日(月)
*問合せ先 議会事務局 ☎093・434・1981

3日	議会運営委員会
6日	第3回定例会(開会)・議会広報特別委員会
11日	議案質疑
17~19日	一般質問
19日	全員協議会、議会運営委員会
20日	付託委員会
24日	第3回定例会(閉会)・議会広報特別委員会

議会中継アクセス件数 (令和7年4月からの累計)

6月末時点アクセス件数
ライブ中継 309件
録画中継 576件

Q 白川北部に下水道を

A 最終的には 下水道網を整備したい



坂本東二郎（高志会）



Q 公共下水道と農業集落排水との直結について検討精査をしたのか。

A 事業計画変更認可されている箇所を整備することにより、次の見通しを立てたい。

Q 公共と農排の直結については、調査前の段階なのか。

A 片島処理場へのつなぎ込みについては、新たな事業計画の変更が必要。

Q 片島処理場などの

運営については、一般会計からの支援が必要では。

A 処理場が20年経過し、老朽化しているので、公共へつなぐことも選択肢の一つ。

Q 総務省が出した報告書によると、処理場の広域化と共同化が言われているが。

A 片島処理場のつなぎ込みは、将来的には選択肢であると思う。

Q 栃木県の上三川町は、規模的に本町に

似ているが。

A 同じ自動車工場のある町だという認識をしている。

Q その町の生活排水処理構想で、公共と農排の接続、非接続で費用比較をしているが。

A 町を取り巻く情勢が随分違っている。

Q 非接続との費用差は、差額として3・5倍くらいになり、圧倒的に接続した

ほうが有利であるが。

A 農業集落排水に下水道をつないだほうがコスト安にはなるが、全体の中で進める。

Q 合併浄化槽は自己責任完結型で、一方下水道整備は税金での整備となり、不公平ではないか。

A 受益者負担金と使用料によって、公営企業は成り立つが、今は過渡期なので、一般会計から5億円

程度繰り出している。

Q 白川北部は、自己責任で合併浄化槽を設置し、下水道整備には税金を使う。二重負担では。

A 下水道整備は一度にはできない。日豊本線から上の方々に待つてもらっている。

Q 白川北部は助成金活用で合併浄化槽を設置しているが。

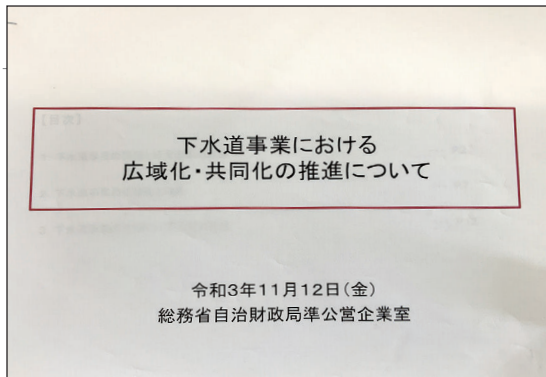
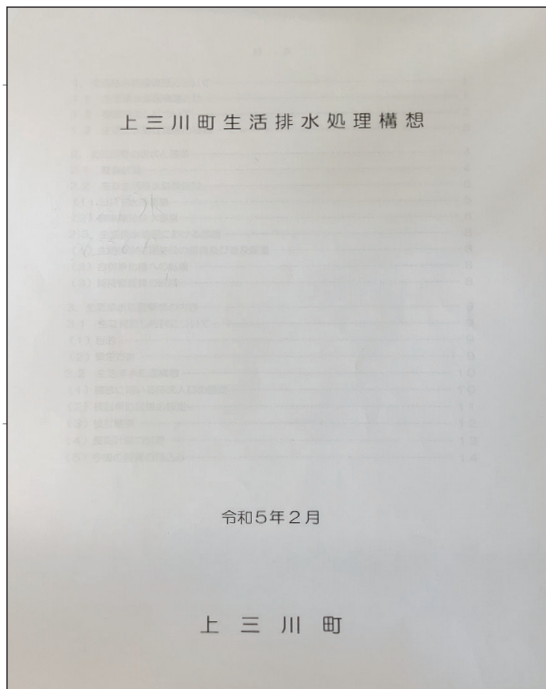
A 町全体を下水道網でネットワークを結

んでいくのが究極の目的。

Q 8年前の回答書のように明確にしたい。

A 明確には言えない。国庫補助金適用が不明なので、国や県の計画に従い、町全体計画を整備する。

提言 下水道整備が合併浄化槽で、決して終わりではないことを望む。



Q 民生委員（※）に期待することは

A 地域福祉に 欠かせない存在



福山直樹（飛翔の会）



Q 現在、民生委員の体制は。

A 定数53名（内主任児童委員4名）。欠員5名。

Q 一人当たりの担当世帯数は。

A 平均386世帯。近隣市町が多い。

Q 平均年齢は。

A 72・9歳。全国平均より高い。

Q 今年の12月に全国一斉改選だが、新たに必要な候補者数は。

A 欠員含めて10人から15人。

Q 候補者探しの方法は。

A 民生委員・児童委員協議会で探し、見つからない場合は、区長に相談する。

Q 公募をしている自治体もあるが、本町はしないのか。

A 考えていない。

Q 担い手不足と言われているが、一斉改選を機に新たな取り組みを検討しては。

A 町民説明会の際に改選と募集の件を説明する。

教員の働き方改革

Q 目的・目標は。

A 教職員の長時間勤務の改善を目的に、超過勤務を年360時間、月45時間以内にする。

Q これまでの成果は。

A 超過勤務時間が減少傾向にある。

Q 家に持ち帰る仕事が多くなっているのでは。

A 十分注意したい。

Q 昼の休憩時間と

A 給食指導、事務作業があり、十分とれていない。

Q 労働基準法では、勤務が6時間を超える場合には、45分の休憩を付与すると定めているが。

A 授業の空き時間や放課後などに割り振って確保している。

Q 今後、重点的に取り組むことは。

A 学校徴収金の徴収・管理業務を見直したい。

提言 超過勤務の実態を、さらに正確に把握すべきだ。



このまちが
好きだから。

物価高対策

Q 県が実施する介護事業所などへの支援策は。

A 食料費や電気代の支援。

Q 対象の事業所以外には、本町が支援しないのか。

A していない。

Q 行橋市やみやこ町もしていないのか。

A 国の臨時交付金を活用して、県と同様の支援をしている。

Q 本町には臨時交付金はないのか。

A 学校給食費の無償化に活用している。

Q 県管轄以外の介護事業所にも支援すべきでは。

A 追加の臨時交付金で検討する。

※民生委員は児童委員を兼務しており、正式名称は「民生委員・児童委員」である。

＼今日もこのまちで活動しています／

民生委員・児童委員

守秘義務のある民生委員・児童委員は、地域の身近な相談相手です。誰に相談したらよいかわからない介護のことや子育てのことひとりで抱え込まずご相談ください。

お問い合わせは白旗まのの市役所窓口へ

単位民生委員児童委員協議会／市区町村民生委員児童委員協議会
総務課・福祉課・民生委員児童委員協議会／全国民生委員児童委員連合会

全国民生委員児童委員連合会

Q エコプラントの 老朽化対策は

A 近隣自治体との 広域連携を検討



森 琢磨（高志会）



Q ごみ排出量の推移は。

A マイバックや簡易包装などにより、減少傾向と推測。

Q ごみ処理費の推移は。

A エコプラント修繕費や燃料費高騰などにより増額傾向。

Q カラス被害対策は。

A 基本的に個人対応。

Q 高齢者への支援は。

A 申請により、自宅前の回収が可能。

Q 福祉との連携は。

A 現在は行っていない。

い。介護サービスを利用。

Q ごみ分別の現状は。

A 大半は適切に行われているが、時より異物が混入。

Q 改善対策は。

A 異物写真掲載や学校での分別学習など。

Q 収集業務の評価は。

A 悪天候でも収集業務を実行。住民サービスに十分対応。

Q クレームなどは。

A 再収集の要請時は、速やかに対応。

Q 今後のごみ処理体

制については。

A 一般廃棄物の受け入れを、北九州市と協議中。

安心安全のまちづくり推進

Q 犯罪件数は。

A 令和6年302件。

Q 不審者情報などの伝達方法は。

A 連絡アプリやLINE、メール配信。

Q 防犯カメラ設置状況は。

A 駅構内や公園など

の町設置21台、町道などの自治会設置2台の計23台。

Q 設置場所の選定は。

A 登下校中の危険個所点検から抽出。

Q 今後の増設計画は。

A 自治会などとの犯罪抑制協議による。

Q 防犯灯設置基準は。

A 自治会の判断。

Q 高齢者への安心安全な歩道整備は。

A 段差解消や危険個所の改善陳情に対応。

Q 運転免許証自主返納高齢者への支援は。

A 5千円分のコミュニケーションバス回数券を交付。

Q 一人暮らし支援は。

A 小地域福祉活動による見守りなど。

Q 児童生徒の安全は。

A 通学路の安全点検や防犯ブザー配布など。

Q 障がい者への安心安全な歩道整備は。

A 点字ブロックや音響式信号機の整備など。

Q 交通事故件数は。

A 令和6年244件で、前年より7件増加。

Q 安全対策は。

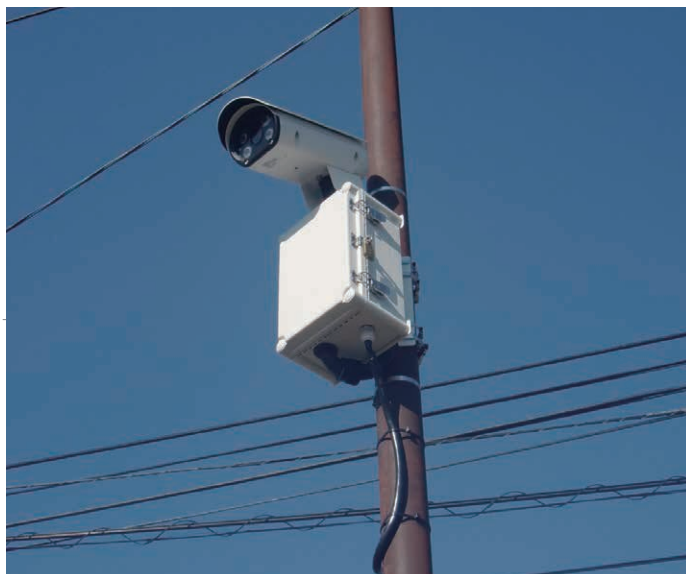
A 警察と連携し、交通環境を整備。

Q 災害避難所の今後

の整備は。

A 各学校体育館へのエアコン設置検討やトイレカー購入など。

提言 安心安全のまちづくりの取り組みは、単なるインフラ整備や制度運用ではなく、町民の安心と命を守るという明確な目的の下に実行されることを望む。



防犯カメラ（富久町）

Q 以前のような 財政悪化にならないように

A 繰り返してはならない



岩谷 潔（飛翔の会）



Q 政策監設置はいつからか。

A 令和3年4月から。

Q 設置の理由は。

A 本町は空港・港湾・高速と多岐にわたっており、課題に対し、大局的に見るため。

Q 政策監がないと

A 課題の進捗状況を見ながら設置している。

Q 県内で政策監を設置しているのは。

A 本町のみ。

Q 今回、設置の目的

は。

A 財政と人材育成に期待している。

Q 財政課長と兼務するのはどうなのか。

A 大変だが、二足の草鞋を履いてもらっている。

Q 政策監としての抱負は。

A 健全な財政運営をしていくために、政策の取捨選択をしていく。

Q 事業に対して苦言を呈することもしないといけないが。

A 財政を見ながら提言をしてもらうことは重要。

本町の財政見通し

Q 北九州市は5年間の財政見通しを公表しているが本町では。

A 作成はしているが不交付団体なので歳入見込みが難しい。あくまで内部資料として扱っている。

Q 今後、現状であれば税収は微増では。

A 現在が税収のピー

クでは。不透明だが、財政運営として安心はしていられない。

事業は思いつかない。

Q 土地を確保しないといけないのでは。

A 民間に任せきりでなく、県と連携し対応する。

Q 税収減と試算すると、切り詰めるところは。

A 事務事業評価において目標に達したものは打ち切る。

Q 町単独事業の縮小は。

A 行革の時代に整理をしている。切れる

A 物価や人件費が高騰している。更にかかるのでは。コンパクトな町にしていくことが必要。

Q 税収を増やすには。

A 企業誘致が最も効果的な策。

苅田町財政健全化に関する 意見書

2017年3月
苅田町財政健全化検討会議

Q 一元化分離の必要性は

A 浸水対策を実施するため



武内幸次郎（無会派）



Q 一元化されていた上下水道事業を分離した経緯は。

A 雨水担当係設置のため課の規模や職員数の適正化を図った。

Q 平成27年に上下水道課の一元化をした経緯は。

A 組織のスリム化、適正な定員管理、職員配置のため。

Q 国の見直しについての捉え方は。

A 水道事業が国交省へと変わったことは承知している。その

他は把握していない。

Q 管路設計、工事監督、維持管理など技術職員の効率かつ効果的活用が図れるが。

A 具体的な検討はしていない。

提言 両事業の指定業者は、ほぼ同一業者。指導監督などの命令系統が統一でき、コスト削減につながる。

Q 決算書類で特に重要なのは、財務三表といわれている。審査意見書での添付でいいのか。

A 今後、検討したい。

Q 人口減少など厳しさが増す。拡張整備を前提とした運営から基盤強化へとの変革時期では。

A 基盤強化を念頭に老朽管や耐震化への更新事業が主で、他に区画整理事業内の新設である。

Q 近年、管路の老朽化による漏水や破損事故が多発しているが現況は。

A 漏水の主な原因、石綿セメント管敷設

替えが完了。大きな漏水事故はない。

Q 铸铁管、硬質塩化ビニール管などは漏水の危険性が高い。使用状況は。

A 铸铁管は対応年数を超えたものから随時、替えている。

Q 耐震適合率はどの程度で、耐震化に向けての対応は。

A 令和6年度末で耐震化の割合は8.8%。病院、避難所や消防署などの重要な施設から更新を進めて行く。

Q 有収率低下の要因は老朽管による漏水が原因では。

A 平成21年度から平成30年度に漏水調査修繕を行い改善された。

Q メーターの手前の民地での漏水は料金

には加算されない。把握は。

A 民地の修理は個人の責任で行うよう、依頼している。

Q 将来的な視点を踏まえた水道事業経営指標の作成は。

A 令和3年3月に水道事業ビジョン及び経営戦略を策定。北九州市からの供給は

加味されてなく見直す予定。

Q 北九州市からの供給と不効率な南原浄水場の稼働停止で、水道料金への影響は。

A 北九州市からの供給で年間約8千万円。浄水場の更新を考えれば経費の削減になる。



二崎浄水場

Q 第5次苅田町総合計画について

A 職員の施策成果指標の向上割合が上昇している



尾形 均（無会派）



Q 意識調査の中で、PDCAや成果を意識している職員の割合は。

A 36%から58%へ向上。

Q 定住の推進について、町に住み続けたと思う人が86%と、かなり多いが。

A 2500人のアンケート調査によるもの。作務的ではなく高くなっている。

Q 今後の人口減少時代に対応し、公共施設の統廃合を考えな

いのか。

A 最終的な目標としては、やっていくべき。

Q 歳入では、以前固定資産税の税率を下げた。下げるべきではなかったのでは。

A 物価高騰や企業運営が厳しい状況なので、現状維持すべきと思う。

Q 経常収支比率がやや高いが。

A 令和5年で80.5%になっている。

Q 信頼される職員と

職場づくりでは、人材育成が第一。これがなされていると思う職員の割合は。

A 38%。

Q 町の組織機構は、機能的、効率的になっていると思う職員の割合は。

A 37.4%。

Q これらの数字を見てどう思うか。

A この時期は、コロナ対応、ワクチン接種で職員の仕事量が増えた。この数値が上がるよう、努力し

たい。

Q 町の組織機構について。

A 働きやすい組織、効率的な組織の在り方を考えたい。

提言 人口減少時代を迎え、今から、歳入増と歳出減を考えるべき。また、人材育成、組織の在り方については、過去の事象を理由にしないこと。

機 日産自動車の経営危機

Q 日産の貢献により、本町は50年連続不交付団体。本町以外に、不交付団体を続ける他県の団体は。

A 武蔵野市、厚木市、箱根町、久御山町が、本町より長い不交付団体。

Q 本町の2工場は閉

鎖の可能性は低いが、ランプ関税の影響は大きいと思われる。町としての対応は。

A 関税による打撃の可能性はある。町はプレミアム商品券を発行し、町民不安を和らげたい。あとは、正式発表後に考えた

Q 日産への対応は。

A 直接横浜に向くことも考えたが、相手の意向もあり、控えた。

提言 今回の危機は本町にとって大変な問題。町民にも不安が多い。町としても、不安払拭のため、町民に向けた何かを発信すること。



日産自動車九州(株)の苅田工場

Q 障がい者への配慮は

A 障害者差別解消法に基づき取り組み



友田 敬而（無会派）



Q 公共施設の更新に当たっては。

A 多目的トイレや身障者用駐車場の整備拡充など。

Q 今後整備する新たな公共施設については。

A 障がい者団体との意見交換の場を設け、設計段階から障がい者の声を反映させるよう努める。

Q 新たに公共施設を建てる上で、どのような視点で取り組んでいるのか。

A 新庁舎建設基本構想を作成し、町民や各種団体に聞き取り調査を行った。トイレに関する意見では、広さに加え、使いやすさを望んでいるということを把握した。

Q 障がい者にとって利用しやすい施設のための配慮は。

A 全ての町民が平等に公共施設を利用できることを目指し、障がい者を意識したまちづくりを進める。

市街地活性化

Q 井場川埋立地の経緯は。

A 約5千平方メートルある井場川埋立地は平成20年に埋め立て工事が竣工し、事業化を進めていたが、財政状況の悪化により当面の間凍結された。

Q 今回の利活用検討の経緯は。

A 第5次苅田町総合計画に基づき施設整備の再検討を開始し、民間活力導入による

利活用検討のため、PPP（※）や官民連携プラットフォームに参加。

Q 利活用を検討する上での課題は。

A 上位計画との整合性や、民間活力を導入した中心市街地の活性化機能の手法。

Q 井場川埋立地利活用のビジョンは。

A JR苅田駅を含めた交通結節機能との一体的な土地利用と情報交流施設拠点の形成を目指す。

Q 井場川埋立地に伴う中心市街地の活性化は。

A 苅田駅及び商店街と連携した土地利用と、回遊性のある仕組みを構築し、町全体の賑わいを創出する。

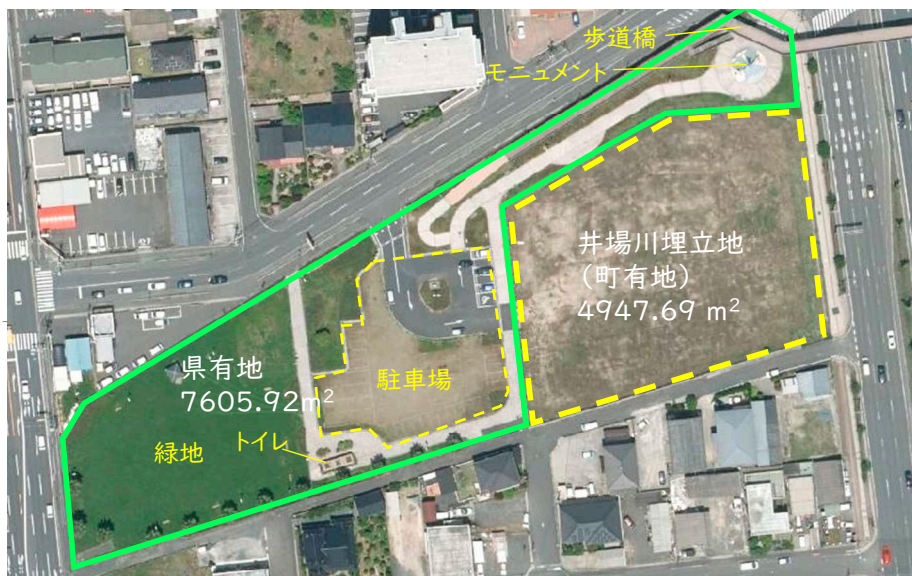
Q 商店街活性化への

ビジョンは。

A 港緑地PPPのような制度を活用し、町有地、県有地を一体的に利用することにより、商店街活性化の一翼を担える。今年度、井場川埋立

地活用検討調査を行い、県の緑地を含めた検討を行う予定。

※PPP：公共施設などの建設、維持管理、運営を行政と民間が連携して行うこと。



井場川埋立地・磯浜緑地

Q 給食無償化による影響は

A 質や量の低下はない



角崎 明美（無会派）



Q 国が給食無償化を導入した場合、国や県から補助はあるのか。

A 何らかの補助制度があるのではないかと考えている。

Q 食材の安定供給のため、地産地消や有機農業の推進をしていくのか。

A 課題ではあるが、地域の農業者の育成支援をまずは第一にしていきたい。

Q 米不足が問題になっているが、給食

の提供に問題は。

A 現状は問題なく供給できている。

Q 不登校児童の給食支援は行っているか。

A 教室に行けない子どもに対しては、学校の別室で少人数で食べれるように配慮している。

提言 学校給食無償化

により、給食の質や量の低下があつてはならない。国や県に補助を求め、給食の質と量の維持、向上をすべきだ。

コロナワクチン接種後の健康被害状況

Q これまでに死亡認定1人、健康被害認定4人だったが、その後の状況は。

A 令和7年度、電話にて相談1件。

Q 相談の時期と症状は。

A 4月中旬。令和5年以前のコロナワクチン接種後、体調不良があった。詳細は個人情報のため答え

られない。

Q 申請の仕方は伝えているか。

A 電話で説明した。来庁されれば相談に応じ、必要書類をお渡しする。

Q 昨年10月コロナワクチン接種有料化になってからの接種者数は。

A 令和6年10月から令和7年2月末までで840人。

Q 有料化前と比較して接種者の割合は。

A マイナス84%の16%。

コミュニティバス

Q コミュニティバス導入の経緯は。

A 平成17年本格運行開始。目的は交通空白地の解消、高齢者の自由な移動の確保、

障がい者の移動手段の確保。

Q 現在の利用者数、利用者の傾向は。

A 令和6年度、4ルートで5万3567人、令和元年度、7万7631人。2.4万人減少。

Q 今後のコミュニティバスの在り方は。

A 継続してこの事業をやるのが使命だが、今後の運営については検討していく必要がある。



本町の学校給食

Q AEDに三角巾の配備を

A 速やかに対応する



小山 信美（公明党）



Q 配置数と過去の使用数は。

A 公共施設や学校の25施設で27台。過去5年間に救急隊が出動した現場では30件。

Q 女性に配慮したAEDの使用方法是。

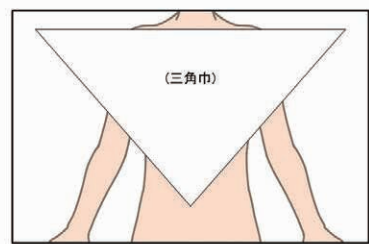
A 服は無理に脱がさずに電極パッドを貼り、その後に上から

AED



自動体外式除細動器

三角巾は
プライバシー保護のために
ご利用ください



人命救助は一刻を争います。
AEDの使用をためらわないでください。

兵庫県三田市のHPより

タオルをかける。
Q AEDの中にセッ

A レスキューセットで、はさみや人工呼吸用のマウスピース

Q 教職員向けの訓練や研修は。

A 消防本部の救急講習を受講している。

Q 小学校の高学年や中学生を対象にした普通救命講習の実施

は。

A 希望する学校には、保護者と先生と子どもが消防署で受講できる。

提言 日頃の体験はいざという時の対応力を高めるために重要だ。

置 体育館のエアコン設置

Q 今後の取り組みと全8校の完備時期は。

A 令和7年度に8校の設計を行い、令和8年度から外壁改修工事と並行して空調整備を進める。遅くとも令和12年度までに完了したい。

Q 長寿命化計画の主な内容は。

A 安全の部分では、外壁改修である。

Q 一括で設計するメ

リットは。

A 設計後は単価変更のみで時短になる。

Q 補助金申請は。

A 事業実施年度、工事の時に申請する。

Q 小学校の優先順位の考え方は。

A 利用人数の大規模校から。

Q 気化熱冷風機の設置場所と台数は。

A 各中学校に1台ずつ納入済み。

Q メリットとデメリットは。

A 移動式で付近の熱を下げる。高額だ。

聾者も聴者も住みよい町に

Q 手話奉仕員養成の目的は。

A 地域生活支援事業として、基礎的な手話技能を身に付ける。

Q 取り組みと成果は。

A 2年間での講座で、令和2年度から6年度まで32人。ボランティアに所属し、イベントのサポートなどで活躍している。

Q 小学校の福祉活動で習得支援は。

A 4年生の総合的学習の時間内で、令和6年度は2校が体験。

Q 教職員の習得について、現状と課題は。

A 手話通訳での対応であり、今後、研修会などに参加する。

Q 職員の窓口対応は。

A 手話を取り入れるよう検討する。

Q 勉強したい聴者に対する支援は。

A 何ができるか考えたい。

Q 給食費無償化の継続を

A 慎重に検討していく



末石 伸二（飛翔の会）



Q 中学校給食費を無償化にした場合の予算は。

A 約6900万円。

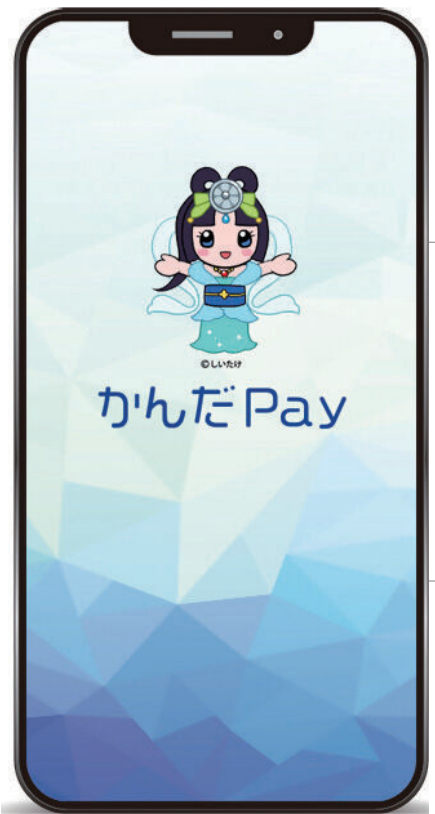
Q 給食費無償化以外の物価高支援策は。

A 地域商品券の発行事業を実施する予定。

Q 地域商品券の内容



地域商品券



かんだ Pay

は。

A プレミアム率30%、販売総額3億円。昨年度より1億円増額している。

Q 紙商品券とかんだPayの比率は。

A 昨年度が6対4。今年度は5対5。そ

れぞれ1億5千万円。

Q かんだPayに対するアンケートの内容は。

A 頻繁に発行してほしいが41.2%。限度額を増やしてほしいが15.9%。使える店を増やしてほしいが

26.3%などの意見が上位を占めている。

Q 1次販売で完売しているのか。

A 令和5年度は、2次販売で完売し、令和6年度は1次販売で完売している。

Q 町外の方でも購入可能だが、苅田町民を優先できないか。

A 紙商品券が81%、電子商品券が71%、全体申込みでは、77%が苅田町民といた状況である。優先を考えると、事務負担が増え、物理的に困難なことがあ

る。

Q 昨年度、商品券への応募金額は。

A 2億円に対し、約3億5千万円の応募があった。

Q 今後、他にも支援策を考えているのか。

A 今年度、臨時交付金の追加があるため、物価高に対応できない国の公定価格で運営している社会福祉施設などの検討が必要と考える。

ゼロカーボンシティ 苅田

Q 今年度、作成する区域施策編の内容は。

A 本町全体で、CO2排出量の削減目標や取り組みを定めたものになる。

Q 現在の取り組みは。

A 地球温暖化防止活

自動車産業の動向

Q 関税政策など、自動車産業を取り巻く状況に対して、本町の受け止めは。

A 経済に大きな打撃を受けており、様々なパターンを考えながらアクションをとっていく。

動推進員と連携し、小学校や各区でのエコ出前講座の開催や啓発活動を行っている。

Q 自動車の町として、次世代自動車の促進をするための購入補助金は、これから必要では。

A 購入補助の効果検証を踏まえ、自動車の町として、検討していく。

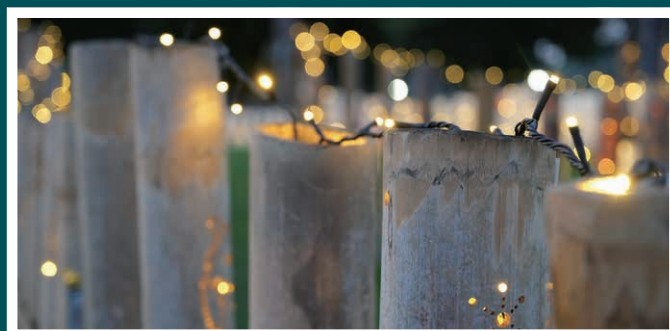


2 021 年度よりスタートし今年で五回目の開催。
従業員手作りの竹灯籠に加え、地域との共生、交流を目的として本町全小学校の五年生が紙灯籠の製作に参加しました。それぞれが思い描く紙灯籠、竹灯籠の優しい光が辺り一面で浮かび上がり、夜の工場を幻想的に彩っています。

地元小学生と従業員の作品が織りなす無限の可能性を秘めたイベントを是非現地にてご覧ください！

【期間】7月2日（水）～8月4日（月）

【場所】日産自動車九州(株)正門付近



表紙の写真



日産自動車九州(株)
竹灯籠・紙灯籠

委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
角 崎	森 琢 美	福 山 直 樹	田 淵 朗	末 石 伸 二	小 山 信 美	村 上 智 宣	榎 谷 忠 明

議会広報特別委員会

今年は梅雨明けが例年より早く、すでに夏本番の暑さです。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。こまめな水分補給や冷房の活用など、熱中症対策をしっかりとい行いながら、どうぞ無理のないようお過ごしください。

田んぼでは青々とした稲がすくすくと育っており、もうすぐ美味しい新米がいただけるかと思うと楽しみです。自然の恵みに感謝しつつ、暑さに負けず元気に夏を乗り越えてまいりましょう。

角崎 明美

あとがき